# 調布三曲協会

# 創立五十周年記念演奏会

主催　調布三曲協会
後援　調布市
　　調布市文化協会
　　調布市教育委員会
　　(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団

平成二十四年四月八日（日）午後二時開演
調布市文化会館たづくり　くすのきホール

# ご挨拶　調布三曲協会創立五十周年を迎えて

調布三曲協会 会長　柴田裕子

本日は、調布三曲協会創立五十周年記念演奏会にご来場くださいまして、心よりお礼申し上げます。昭和三十七年、三曲協会結成の際、先輩諸氏は大変な苦労をされました。「三曲協会とは、何の曲芸をするのかね？」と言われ、市民の方々の誤解を招かないよう、暫くの間「音楽」の二文字を入れ、「三曲音楽協会」という名称にしていた時期もあります。半世紀にわたり会を支えてこられた方々のご努力で、私達は何事にも束縛されることなく、自由に音楽活動に取り組めますことに、心より感謝いたしております。私達は、これからも志を同じくするもの同士、切磋琢磨し、伝統を大切に守り伝えながら、邦楽の普及に微力を尽くす所存でございます。

創立五十周年を記念し、福嶋頼秀先生に合奏曲を委嘱いたしました。先生は、私達の要望を快く受け入れて下さり『三曲合奏のための〝恋物語〟』を作曲してくださいました。この曲が皆さまに愛され、日本各地で演奏されますことを願って初演させていただきます。併せて、次世代へ調布三曲協会の志を繋ぐ思いを込めて、会員と門下生との合同演奏も行います。さらに、会員が指導してまいりました小学生、中学生、高校生、門下生の練習の成果を披露させて頂きます。これは、平成十年の小学校、中学校の指導要綱改正による和楽器履修の必修化や、文化庁が推進する『文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業』の一つ、「伝統文化箏子ども教室」の趣旨に沿って、会員が地道な活動をしてきた結果です。

最後になりましたが、プログラムにご祝辞を頂きました調布市長・長友貴樹様、調布市文化協会会長・高岡宮子様、作曲家・福嶋頼秀様、賛助ご出演の打楽器演奏家・佐藤秀嗣様、プログラムの「五十年の歩み」にご寄稿くださいました先生方に厚くお礼申し上げます。

ご来場の皆様方には、今後ともかわらぬ温かいご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

# 祝辞

調布市長　長友貴樹

調布三曲協会が創立五十周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

貴協会は、昭和三十七年の創立以来、半世紀の長きにわたり地域に根ざした活動を精力的に行い、調布市の文化の向上に大きく貢献されてきました。これまでの会員の皆様のたゆまぬ努力に心から敬意を表させていただくとともに、深く感謝申し上げます。

昨年発生した東日本大震災以降、心の安らぎを求めて芸術・文化活動に深く関心を寄せる方が増えております。音楽を奏でることは演奏者の心を豊かにするとともに、一心に演奏される和楽器の音色は聴く者にぬくもりや癒しを与えてくれます。

今回新たに、深大寺や多摩川をはじめ調布が誇る風景をイメージして作られた貴協会オリジナルの合奏曲が五十周年記念演奏会で披露されるとのことで、郷土愛溢れる皆様のご活動を大変ありがたく感じております。今後とも、皆様には先人から受け継がれてきた日本の貴重な伝統である三曲を通じて、調布市の文化・芸術の振興にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、調布三曲協会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

# 調布三曲協会創立五十周年を祝して

調布市文化協会会長　高岡宮子

調布三曲協会が創立五十周年を迎えられましたこと心よりお祝い申し上げます。箏・三味線・尺八・日本の最たる邦楽・三曲の仲間が集い、この邦楽の伝承に日々心血を注ぎつつ、子供達への指導や福祉施設への演奏会、また、調布市文化協会に加盟し調布市民文化生活の向上に寄与する目的のもと、市内における多種の文化活動に取り組んでおられることに感銘を受けています。

三曲協会が設立された昭和三十七年当時は、高度経済成長と共に文化活動に関わる人口の増加と、新種の芸能・芸術が数多く出現しましたが、これら新種の文化はブームとなっては消えるという現象の中、「箏・三味線・尺八」の三曲の世界は、遥か神代から現代に至るまで揺るぎなく、脈々と受け継がれ、根気強く日々の鍛練を経て醸（かも）し出すその音色と共にまさに世界に誇れる邦楽です。

「箏・三味線・尺八」が三位一体となって聴衆を魅了するチームワークの大切さと共に、一音ごと確かな音色を次世代に伝えていただきますことを切望しつつ、調布三曲協会の今後益々のご発展をご祈念申し上げます。

# 創立五十周年を祝して

作曲家　福嶋頼秀

この度は調布三曲協会が創立五十周年を迎えられるとの事、心よりお祝い申し上げます。一つの団体が五十年にもわたって維持され、五十回以上もの演奏会を開催するということは、並大抵の事ではなく、関係者のみなさまの多大な労力の積み重ねの賜物であると推察致します。

そして、本日の記念すべき創立五十周年記念演奏会で初演するために、調布三曲協会の初の委嘱作品を私が作曲させて頂きました。素晴らしい機会を与えて頂いた事に大いに感謝し、また同時にプレッシャーを感じつつ、精一杯の力をそそいで楽譜を書きました。

タイトルは『三曲合奏のための〝恋物語〟』。これは、男女の出会いから恋が実るまでの架空の恋物語を描いた作品なのですが、実はその中に、調布にゆかりのある景色の描写が織り込まれています。第一章では多摩川の渡し、第二章では深大寺、第三章では桜並木……なのですが、今後この作品が演奏される度に演奏者や聴衆の方々に、調布の自然や歴史について想いを馳せて頂ける事を願っています。

この由緒ある調布で日本の伝統音楽を守り、そして新たな和の響きを追求してゆく貴協会の有意義な活動が、今後もますます盛んになります事を大いに期待しております。

〈プロフィール〉

## 福嶋 頼秀（ふくしま よりひで）

１９６７年群馬県生まれ、慶應義塾大学法学部卒業。５年間の会社員生活の後、作曲・編曲家としての活動をスタート。邦楽作品を多数作曲し、深海さとみ、坂田梁山、田辺頌山、藤原道山の各氏ほかのソリスト、日本音楽集団をはじめとする様々な団体が演奏している。

洋楽の分野では、仙台フィル、群馬響、東京都響、東京フィル、東京シティフィル、京都市響、広島響など各地のプロ・オーケストラからの編曲・司会依頼が多数。チョン・ミョンフン、山下一史、渡邊一正、鈴木織衛、山田和樹の各氏ほかが作品を指揮している。またこれらを通して、足立さつき、錦織健、秋川雅史、渡辺真知子、庄野真代、つのだりょうこ、渡辺満里奈、中村雅俊、海援隊、Ryu の各氏などのオペラ歌手・ポップスシンガーとのコラボも多い。

土曜ワイド劇場、月曜ドラマスペシャルなどＴＶドラマやミュージカルの劇伴音楽も多数。この他、ＪＲ東日本「大人の休日倶楽部」など各種レクチャーの講師、公共ホールのアドバイザー、音楽雑誌などの記事執筆といった分野の活動も行っている。

## 佐藤 秀嗣（さとう ひでつぐ）

北海道帯広市出身。東邦音楽大学卒業。「２４時間テレビ　愛は地球を救う」「題名のない音楽会」「ＮＨＫ紅白歌合戦」やドラマ「猿ロック」「TRICK」等、多くのＴＶ出演や参加ＣＤ多数。万里の長城国際コンクール、ベスト・プレイヤーズ・コンテスト、東京国際芸術協会新人オーディション等、多くのコンクール等で受賞。ジャニーズ事務所や石原プロダクション、劇団四季の太鼓指導なども。

オーケストラ　アジア団員、邦楽JAM「INSPIRATION」メンバー、「イザナギ」メンバー、和太鼓グループ「鼓友会」所属、リズムアンサンブル「ぐゥ（うんた）」主宰、「打楽人会」主宰、TAIKO−LAB浅草講師、埼玉県立芸術総合高等学校非常勤講師。洋楽打楽器を百瀬和則、吉原すみれ、藤原靖久、河野玲子、水谷明子、池田知佳士の各氏に師事。東邦ウィーン・アカデミーにてＡ・ミッターマイヤー氏に師事。邦楽打楽器を西川啓光、長唄鳴物を望月太喜之丞、江戸囃子を尾股真次の各師に師事。

---

〈〝恋物語〟合奏指導〉

作曲家　福嶋 頼秀

〈賛助出演〉

打楽器　佐藤 秀嗣

〈協力〉

箏屋　宮城野楽器

写真　調布写真連盟

映像　調布映像協会

舞台

（株）東京舞台照明

《演奏曲目》

一　六段の調

二　雲井獅子

三　さくら変奏曲

四　寿くらべ

―休憩―

五　傘舞台・夏の日

六　箏五重奏曲　星涼之賦

七　三曲合奏のための〝恋物語〟

終演予定　午後四時頃

# 一　六段の調

八橋検校　作曲

村田實咏　橋本竹咏　野島實　上口外洋男　丸山則義　三輪輝夫　細山伶観

尺八

森山知子　原口恵美子　阿部カヨ子

嶌田ケイ子　浅井恵子　北本由美子

二井内雅子

村岡ふみ　永吉一久朗　成瀬貴子　佐藤美穂

石井祥子　土橋由美

胡弓

上杉みち江　深町明子　有田怜香　小西寿子　浅井武彦　牧内敬子

原田敦子　小島早希子　高橋七海　伊達和佳子　中山淑子

岩舘麻理　島田ふみ子　松本愛子　石田敦子　木原久子

長崎泰子　山田博佳寿　平井理香　山水恭子　金森遊美　松井妙子

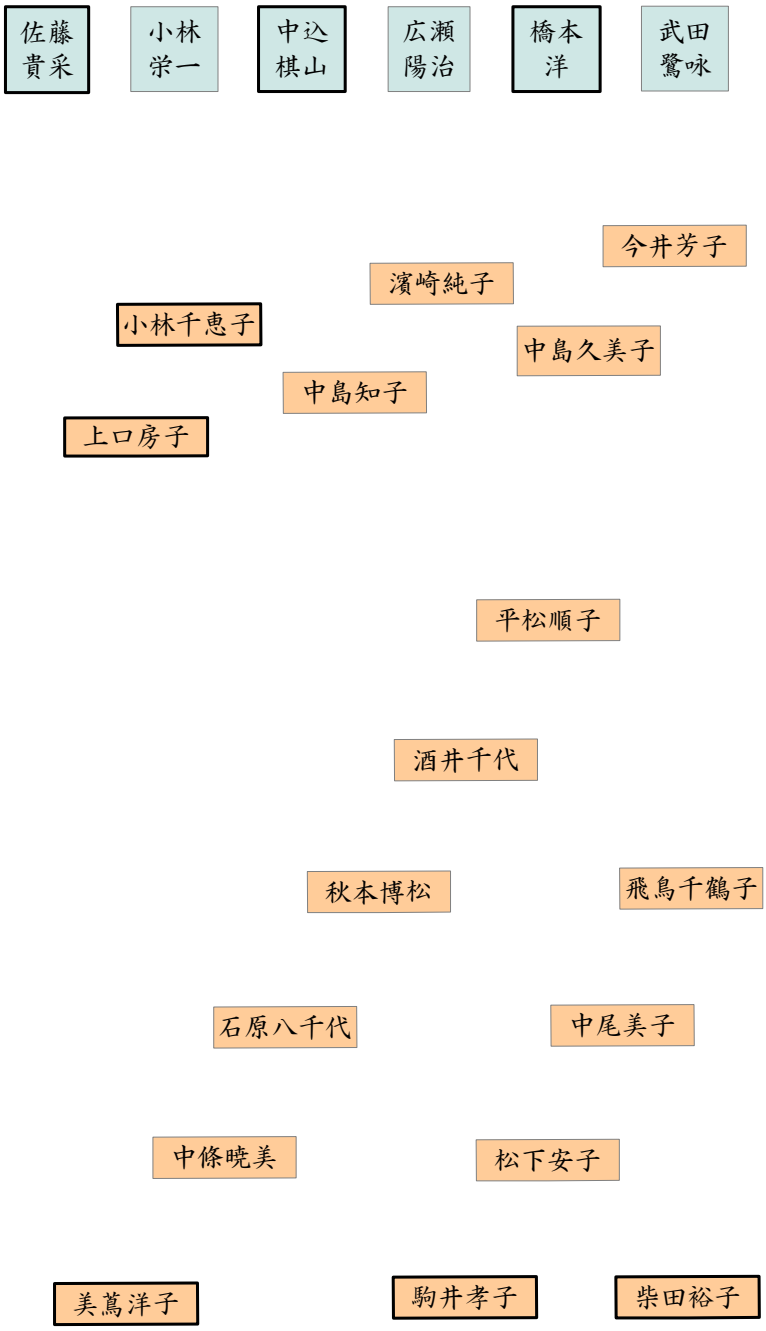
田村博寿　岩崎瑶子　吉川和博　田代せつ子　渡邊清恵　中西賀代子

三絃

〈解説〉　近世箏曲の祖といわれる八橋検校により、江戸時代の初期に作曲されたと伝えられています。「六段」ともいいますが、「六段の調」の「調」とは、「唄のない楽器だけの曲」という意味で、ほかにも八段・九段など「段物」といわれる曲には共通した特徴があります。

各段が五十二拍子（百四拍・初段のみ五十四拍子）であることと、曲の速度が自然に加速的に速くなり、最終段に至って緩やかに終わることです。

箏組歌や地歌曲と異なり、歌をともなわない純器楽曲として、江戸時代の古典箏曲を代表する曲であり、現在も多くの人に愛されて弾き継がれている名曲です。




（太枠は会員、他は門下生）

# 二　雲井獅子

琴古流尺八古典本曲

尺八一（八寸管）　橋本 竹咏

細山 伶観

尺八二（八寸管）　橋本　洋

三輪 輝夫

佐藤 貴采

〈解説〉　九州博多一朝軒所傳の雲井獅子が琴古流に伝わったもの。琴古流の「雲井獅子」は、黒沢琴古（琴古流々祖）が制定した三十六曲中にはなく、後になって「吾妻の曲」等と一緒に取り入れられました。曲は獅子舞と関係があり、厄払いや祝い事の折に、また普化宗の修行で午後の托鉢行脚の際にも吹かれたようです。その美しい旋律は、獅子が眠りから目覚めて活動する様子を表していると言われ、昔の僧の間では眠気覚ましにこの曲が好んで吹かれたそうです。今回は一尺八寸管二部の二重奏にて演奏します。

# 三　さくら変奏曲

宮城道雄　作曲

第一箏　村岡　ふみ
　　上口　房子
　　阿部　カヨ子

第二箏　土橋　由美
　　中西　賀代子
　　駒井　孝子

十七絃　田代　せつ子
　　小林　千恵子

〈解説〉　宮城道雄の作品のなかでも最も親しまれているこの曲は、一九二三年に作曲された三重奏曲です。日本古謡の「さくらさくら」の旋律を主題にした変奏曲で、箏の高音部、低音部と十七絃で構成されています。邦楽と洋楽との融合をめざした作曲者は、「秋の調べ」、「落葉の踊り」の作曲をふまえて、この曲によりはじめて邦楽器による変奏曲を創作しました。八段からなる構成の第一段は、主題の提示にとどまらず、高音部の箏はすでにはじめから変奏を弾いています。三拍子の軽快な段、トレモロ奏法を駆使した段などは、この曲の大きな特色になっています。

# 四　寿くらべ

二代　山木太賀　作曲

箏　美蔦 洋子

吉川 和博

三絃　田村 博寿

〈歌詞〉　寿は峻山にして千歳秀で、また蒼海の、限りなき、南の星の影ひたす、岩根の波の名に高き、天の橋立ふみも見ず、水の江というみやびをあり、（月雪花の折々に、都の手ぶりうとからず、心もかろき春風に、釣竿とつて青柳の、糸くり出だす鰹つり鯛つりほこり七日まで、家路忘れて住の江や、浦曲遙かにこぎ出でぬ、あゝいぶかしや、まさしく釣りしは亀なるを、いとやんごとなき上臈の、をればこぼるゝ笑の露、初花ざくらに鶯の、初音そへたるばかりなり、我はそも、竜の都の者なるが、君を伴なひ申さむ、いざ諸共にと浦島は、常世の国に到りけり、）わだつみの、わだつみの、神の宮居のうちのべの、妙なるうちにいつまでも、思ひなぎさに打ち連れて、貝やひろはむ、玉やひろはむ、君がえにしは紫の、深き色貝千種貝、たまのあふせはなわだに、思ひ通した女気は、風にみだれぬ玉すだれ、すだれ貝とのへだてはうしと、くねる目元の潮貝は、なでしこ貝のしどけなく、物思ふとは白玉か、何ぞと露のあだ言葉、ついロ玉にかけられて、手枕ふれし朝寝髪、楽しき中に故郷を、かつしのばれて立ち帰る、乙女が与えし玉くしげ、あけてのどけき如月の、花のむしろにまとゐして、寿くらべ千代くらべ、山にくらべて此君の、高きよはひを祝しけり。（）内は今回演奏省略

〈解説〉　この曲は「日本書紀」雄略天皇の巻、「丹後風土記」、「万葉集」巻九などにみられる水の江（丹後地方の地名）の浦島の子の伝説を基に、二代山木太賀が、変化が多く技巧に富んだ名曲に作り上げた作品です。初めに寿命長久を、高く険しい山、限りない青海原にたとえ、上臈に姿を変えた亀に誘われた竜宮でのくらし、乙姫との仲睦まじい日々から故郷を偲んで立ち帰り、玉手箱を開いたところ、三百余歳の高齢となったことを、寿ぎ結んでいます。格調高い導入部や雅楽をイメージさせる竜宮の佇まいの描写や乙姫の心情を細やかに綴る貝尽くしなど、聴きどころの多い華やかな祝賀曲です。

# 五（一）　傘（からかさ）舞台

宮城道雄　作曲

〈歌詞〉

一、からかさ　番傘
蛇の目傘
花を描いた絵傘（えがらがさ）
傘が並んで　橋を行く
橋は板橋　カラ　コロロ

二、からかさ舞台は
円（まる）舞台
踊りの好きな雨の子の
踊上手の足拍子と
手拍子そろへて　パラ　パラリ

（葛原しげる　作詞）

箏本手　中西さくら（小五）

和地　莉音（小四）

箏替手　澤田　澪那（小五）

〈解説〉　唐風（からふう）の傘という意味のからかさ。花模様のきれいな絵柄傘、商店などで番号をつけて客に貸し出した番傘、中心部と縁を色分けし、蛇の目に見えることからつけられた細く上品な蛇の目傘（じゃのめがさ）などいろいろな傘がうたわれています。油をひいた和紙を張った傘を丸い舞台に見立てて、その上で雨粒がはね踊る様子を描いたものです。箏奏法の基本、かき爪、合わせ爪、すくい爪、押し手を取り入れ、傘をさしている子供の様子を明るく、リズミカルに表現しています。

# 五（二）　四季の日々より「夏の日」　沢井忠夫　作曲

第一箏

中村 菜々子（中一）　本橋　栞菜（中二）
堀米 紗利沙（中一）　平井　梓（小五）
中村　莉穂（中一）　相見 理佳子（中二）
浦野　多恵（中一）　安藤　菜実（高一）

第二箏

浅川　優衣（高三）　鈴木 想仁歌（高一）
和地　嶺音（小六）　戸井田 百寧（高一）
倉本　花梨（中二）　小山　栞（大二）

〈解説〉　この曲は、一九八六年に作曲された、組曲「四季の日々」の中の一曲になります。日本は季節の変化に恵まれた国で、人々はその四季の移り変わりに身も心も順応させて、季節を楽しみます。春は花の美しさを、夏には太陽の明るさ、また秋には風にのる落ち葉、そして冬は雪景色の面白さを誰もが心に綴るに違いありません。この組曲では箏の二重奏によってそれを綴っていきます。技巧上の一つの工夫として、第一箏の押し手は無く、演奏を容易にし、合奏によって音の変化を楽しめるように作曲されています。

# 六　箏五重奏曲　星涼之賦

川崎絵都夫　作曲

Ⅰ箏　松本　愛子
Ⅱ箏　柴田　裕子
Ⅲ箏　土橋　由美
Ⅳ箏　中山　淑子
Ⅴ箏・十七絃　小林千恵子

〈解説〉　箏の高音域のきらきらした音を、子供の頃夢中になって眺めていた星の輝きになぞらえて作曲されました。そして、星々を眺めている時に心に沸き上がる様々な想いをそこに託しています。今回は五章の内、Ⅰむづら星（プレアデス星団、和名は昴）、Ⅳ天馬ゆく（秋の夜空の天頂近く悠然とはばたく天馬はペガサス座）、Ⅴシリウス（冬の南東の夜空に輝く全天一明るい星）の三章を演奏致します。

七

三曲合奏のための

〃恋物語〃

第一章　わたしから
第二章　えんむすび
第三章　はるおうか

福嶋頼秀　作曲

篠笛　佐藤　貴采
尺八一　橋本　洋　細山　伶観
尺八二　橋本　竹咏　三輪　輝夫
胡弓　村岡　ふみ　佐藤　美穂
三味線　松本　愛子　中山　淑子　田村博寿
箏一　柴田　裕子　土橋　由美　上口房子　阿部カヨ子
箏二　美蔦　洋子　吉川　和博　駒井孝子　中西賀代子
十七絃　小林千恵子　田代せつ子
打楽器　佐藤　秀嗣（賛助）

〈解説〉　みなさん〝恋〟してますか？　恋をしている時のときめきや高揚感は、他の事では代えられない、特別な感情ですよね。

この曲は、男女が出会い、ときめいて、結ばれるまでの、架空の『恋物語』を音楽で綴った作品です。今恋愛の真っ直中にいる方々にも、かつて大恋愛をした方々にも、ご自身の経験を重ね合わせながら楽しんで頂きたい、と思っています。

『第一章　わたしから』は、出会いの場面。つまらない日常の中で出会った素敵な人のイメージを、三味線が奏でます。笛や尺八のメロディーはときめく〝わたし〟の心。中盤で箏の合奏がさざ波の様に響きますが、これはときめきとは裏腹に抱いてしまう不安な気持ちを、さざ波に浮かぶ小舟に見立てて表しています。

『第二章　えんむすび』は文字通り、〝縁結びのお祈り〟です。ご利益を期待して、お寺で願いごとをする……きっと温かくて、落ち着いた気持ちになるでしょう。

『第三章　はるおうか』は、成就した恋を喜ぶ〝春の謳歌〟で、全体的に華やかに曲が進みます。途中、楽しく会話をするかの様に楽器同士が対位法的に掛け合いをしたり、舞い散る桜吹雪を描写するかの様な全体合奏の部分などがあり、最後は大いに盛り上がって曲が終わります。

この楽曲は調布三曲協会の創立五十周年記念演奏会のための委嘱作品として作曲したもので、実は曲中で、調布にちなんだ景色を表す箇所が出てきます。

第一章の中盤は「多摩川の渡し」のさざ波、第二章の前半は「深大寺境内」の雰囲気、第三章の後半は「桜並木の花吹雪」です。演奏を聴きながら、みなさまがそういった風景をもイメージして頂けますと、大変嬉しく思います。

# 『調布三曲協会五十年の歩み』

## 発足経緯

二〇一二年（平成二十四年）の今年、調布三曲協会は発足から五十周年を迎えました。

思えば半世紀にわたって、箏・三絃・尺八の演奏者の団体を維持してきた歴史には、感慨深いものがあります。

一九六二年（昭和三十七年）、「調布市三曲協会」として結成され、翌年の六月には、「調布市三曲音楽協会」と改称し、第一回記念演奏会を調布市公民館で開催しました。尺八演奏家の故磯野茶山氏を会長に、箏曲の故木藤きみ子氏を副会長として、発会に尽力した内野剣山氏をはじめとする故前田茶青氏、故伊藤弥生氏、故嶋田香苗氏の六名が中心となり、市内の三曲教授家を一人ひとり訪れて説得し、賛同を得たと伝え聞きます。

会員十四名でスタートした「調布市三曲音楽協会」は、二十周年を迎えて「調布三曲協会」と改称し、磯野氏が亡きこの後を木藤氏が会長として一九九四年まで、その後、渡辺泰子氏が二〇〇八年まで、門傳良男氏が二〇一〇年まで、現在、柴田裕子氏がその後を受けて本年を迎えました。

現在、会員は二十六名、それぞれの門下生とともに、毎年の市民文化祭に参加する定期演奏会を開催し、さまざまな演奏活動や市の各種講座、学校での指導、ボランティア活動に参加してきました。

「調布三曲協会」の活動として自負するものに、各周年記念演奏会があります。創立二十周年、二十五周年、三十周年、三十五周年、四十周年、四十五周年、加えて自主公演を開催した二〇〇〇年の「如月にひく」、二〇〇九年の渡辺泰子氏退会で開催した「渡辺泰子さんを囲むコンサート」は、苦労とともに喜びを共有した演奏会でありました。

今回の五十周年記念演奏会には、はじめての企画として、ひとつに門下生も共に参加する「六段の調」の大合奏、もうひとつに調布三曲協会として委嘱初演の福島頼秀氏作曲の「三曲合奏のための〝恋物語〟」の演奏があります。

調布をテーマにと依頼した曲が、音として立ち上がってくる手応えを実感しながら、五十年の歴史をささえてくださった調布市の文化の力に感謝をいたしております。

（村岡ふみ 記）

オ三回 調布市三曲音楽協会演奏会
昭和40年6月20日　調布市公民館ホール

# 『思い出』

## 調布三曲の思い出

宮田　耕八朗

調布三曲協会が五十年にわたり継続して来られましたことに敬意を表し、お祝い申し上げます。私の門下生で調布に住んでおられた中山（後に嶋田）香苗さんが三曲協会発足時から参加されていましたので、その演じ物にお手伝いとして第一回からしばしば出演させていただきましたが、その頃から会員でおられる方は現在何人いらっしゃるのでしょうか。

府中市の「箏の音会」のご依頼で「くらやみ祭のおはなし」を作曲し二〇〇二年四月九日に府中の森芸術劇場ふるさとホールにおいて初演。その初演にあたり調布三曲協会の方々にご出演いただきましたことは誠にありがたく、また楽しい出来事でした。

調布三曲協会第一回演奏会で私は、「湖辺の夕」を演奏。作曲者宮城道雄が亡くなってから七年後で、その頃は宮城曲は新曲と言われていました。ところが五十年経ってみると初鶯のような歌ものはほとんど古典と思われているようです。

どうやら古典というのは歌っている言葉がひと言も分からない曲のことを指しているようです。調布三曲協会のプログラムを見ますと演目はなかなか多彩。どうぞ現代曲はもちろんのこと、二百年・三百年の曲もその曲が生まれたばかりのように現代に生きる生命を吹き込んで客席の方々と共に音楽を楽しみましょう。調布三曲協会の益々のご発展を切に願っております。

府中のくらやみ祭をうたう
宮田耕八朗　尺八・箏コンサート　2002年4月19日　府中の森芸術劇場ふるさとホール

宮城道雄作曲

15. 湖辺の夕べ

箏　中山香苗
尺八第一　宮田此童
尺八第二　大原光泉

# お祝いのことば

内野 剣山

この度、調布三曲協会創立五十周年記念演奏会を開催されるとの事、心よりお祝い申し上げます。数えて半世紀、年々躍進と発展を積み重ね、多くの市民に希望と感動を、更に調布市の文化の向上と啓蒙に多大なる貢献と活動を継続されておられる事、三曲界のひとりとして、たいへん誇らしく思います。

思えば設立当初、成人式を迎えたばかりの私が、恩師磯野茶山（初代会長）、前田茶青、木藤きみ子、嶋田香苗、伊藤弥生各師と共に六名が発起人となり、市内教授宅を訪ね、ご賛同頂き沢山のご社中応援のお陰で半年余りで、第一回演奏会を開催、年二回の実施を経て、第一回市民文化祭に参加、その後文化協会と共に歩んできました。私儀ながら同じ頃、第一回体育祭も開催、両方の実行委員として、三曲会と剣道大会と日々忙しかった事を思い起こし改めて五十年の歳月の重みを実感しています。

三曲協会のご活躍に期待しています。

第6回三曲音楽演奏会 昭和43年(1968年) 11月9日 於 調布市公民館

第8回三曲音楽演奏会 昭和45年(1970年) 11月8日 於 調布市公民館

# 調布三曲協会五十周年に想う

石森 康雄

私にとって箏曲界・三曲協会という響きは何ともかた苦しいものであった。縁あって調布三曲協会に誘われて仲間に入れていただき内側から会員としてながめるようになった。丁度何度かの会長交代の時期があり、その後渡辺泰子氏が会長につかれた。会の様子もかなり変わってきて、古典一辺倒のどこにでもある三曲協会とはひと味ちがうような活動が見えてきた。そのような中で事務局を担当するように言われた。少しでも役に立つことが出来るようにと精一杯かかわっていった。その最中に調布三曲協会四十周年記念の演奏会がもたれた。かなり忙しかったことを覚えている。会員も熱気にあふれていて力強く感じた。

あれから早くも十年が過ぎているのかと思うと、年月の流れの早さを感じる。都合により退会はしたものの、常に何かある毎に調布三曲協会の動きは見守っている。私のどこかに調布三曲協会を通して出会った人々と、その中で学んだ多くの事を大切に思い感謝をしているからだと思う。今でも多くの会員の方々との関わりがあるが、とてもうれしくありがたい事である。それは調布三曲協会会員が活動を通す中で和が保たれていたからだと思う。

五十周年を迎えた大きな節目を祝うと共に、調布三曲協会の五十年の歴史を大切にして会員の和のもとに益々発展していくことを祈る。調布三曲協会創立五十周年記念、心よりおめでとうございます。

創立35周年記念演奏会 平成9年(1997年) 4月19日「つるのおんがえし」於 くすのきホール

こと・三味線・尺八 実技講座　平成6年(1994年) 10月15日

# 調布三曲協会…思い出に残った演奏会

渡辺 泰子

調布三曲協会が創立以来五十年間飛躍的な活動を展開し、地域の文化発展に大きく貢献し本日この良き日を迎えられたことに、心からお祝い申し上げます。

私は昭和五十三年に入会し、平成七年～平成二十一年までの十四年間会長を務めさせていただきました。その中で思い出に残った演奏会は、創立三十五・四十・四十五周年の記念演奏会です。特に創立四十周年のプログラムの中で、記念に会員の作品をやりましょうと、石森康雄会員作曲の「心ときめくとき」を三重奏に編曲させていただき、実行委員会の仲間八名で演奏したことは、まさに会員同士が流派を越えて良き音楽仲間となった証だと思いました。

また創立四十五周年記念演奏会の幕開けで長沢勝俊作曲「子供の四季」を田村拓男指揮指導により布田小学校合唱クラブの大勢の子供たちの参加を得て感動の舞台を作ることが出来たこと、これは会員一人ひとりが常日頃、地域活動の中で邦楽器の紹介や実技指導などを惜しみなく行ったことにより、地域の皆様のご協力とご支援をいただくことが出来たのだと思いました。

そして最後に「渡辺泰子さんを囲む会」というタイトルで平成二十一年一月二十三日、お別れの演奏会を開いていただいたことです。調布市歌「わが町調布」を会員の皆様と共に演奏し、あたたかくお見送りいただいたことは一生の思い出となり、今も深く感謝しております。

私にとって調布三曲協会は「青春」であり、「良き仲間」に巡り合えた場所であり、現在の音楽活動の原点です。私達は音楽を通して知り合い、団結し、助け合い、さらに音楽活動を広げ発展させるという素晴らしい力をもっています。どうぞ伝統に輝く調布三曲協会が世界に誇りうる日本の邦楽を広め、地域の次世代に確実に伝承されますよう、さらに会員の皆様の益々の御活躍と御健勝をお祈り申し上げます。

伊豆下田へ三曲協会初の旅行 平成2年(1990年)3月4日

嶋田・宮田・渡辺リハーサル 昭和55年(1980年)8月

創立45周年記念演奏会 平成19年(2007年) 9月1日「子供の四季」 指揮 田村拓男 於くすのきホール

# ショックから始まった我が人生

門傳 良男

私は尺八を吹いている。何かを新規に始める場合必ずきっかけがある。私の場合は一九七一年に三カ月ほどヨーロッパで国際ワークキャンプに参加した折、世界の青年と交流する中で日本文化の必要性を真に実感し、帰国後その足でというくらいに速攻で探し、辿り着いたのが尺八であり、内野剣山氏に師事した。

現在は法人邦楽指導者ネットワーク２１の設立からかかわり、理事として活動している。平成二十三年度は、調布市伝統文化伝承推進の会として文化庁から直接補助を受け、文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業を展開している。文化遺産の種目は箏・尺八・華道・日本舞踊等々六種目。合計八十名以上の小中学生が伝統文化遺産の体験・継承の活動をし、延べ参加者は千五百名以上になる。平成二十四年度申請においては六団体八種目に拡大している。私たちは演奏者である前に、伝え育てていく伝道者としてその真価が問われる。

振り返れば私が三曲協会会長に就任したのは、第四代目であった。磯野茶山氏が初代会長。磯野先生が亡くなられた後、木藤きみ子氏が二代目を、そして三代目を渡辺泰子氏が務め、三人で何と四十七年間も治められたことに改めて感慨を覚える。私は渡辺氏の後任として会長に推挙され、五十周年事業準備に入り、これからという時に会長の座を不本意にも降りることとなり、周年行事を全う出来ず三曲協会を去った今日、そのことが唯一の心残りであったが、足枷が取れ、より社会活動の方向性が鮮明になり、漲る力を感じるこの頃である。協会の行く末を見守りたい。

邦楽舞踊公演 「編曲八千代獅子」昭和57年(1982年)2月28日　客演 山本邦山　於　調布グリーンホール

創立20周年記念演奏会 昭和58年(1983年) 2月20日「磯千鳥」(磯野茶山氏追悼）於 調布グリーンホール

自主公演　如月にひく　平成12年(2002年) 2月20日 「編曲八千代獅子」於 くすのきホール

## 定期演奏会・周年記念演奏会・自主公演　開催記録（その2）

| 市民文化祭 | 三曲演奏会 | 開催日 | 西暦年 | 開催会場 | 主催・他 |
|---|---|---|---|---|---|
| 34 | 27 | H1.11.3(祝) | 1989 | 同上 | |
| 35 | 28 | H2.11.11(日) | 1990 | 同上 | |
| 36 | 29 | H3.11.24(日) | 1991 | 同上 | |
| 37 | 30周年記念 | H4.11.8(日) | 1992 | グリーンホール | 創立30周年記念演奏会 |
| 38 | 31 | H5.10.24(日) | 1993 | 調布市公民館 | |
| 39 | 32 | H6.11.12(日) | 1994 | 同上 | |
| 40 | 33 | H7.10.24(日) | 1995 | くすのきホール | 会長：渡辺泰子 |
| | | H8.1.13(日) | 1996 | 北部公民館 | 新春に贈る箏・尺八・三絃の調べ |
| 41 | 34 | H8.11.9(土) | 1996 | くすのきホール | |
| | 35周年記念 | H9.4.19(日) | 1997 | 同上 | 創立35周年記念演奏会 |
| 42 | 35 | H9.11.9(日) | 1997 | 同上 | |
| 43 | 36 | H10.10.25(日) | 1998 | 同上 | |
| 44 | 37 | H11.10.24(日) | 1999 | 同上 | |
| | 自主公演 | H12.2.20(日) | 2000 | 同上 | 自主公演「如月にひく」 |
| 45 | 38 | H12.10.21(日) | 2000 | 同上 | |
| 46 | 39 | H13.11.11(日) | 2001 | 同上 | |
| | 40周年記念 | H14.2.17(日) | 2002 | 同上 | 創立40周年記念演奏会 |
| 47 | 40 | H14.11.9(日) | 2002 | 同上 | |
| 48 | 41 | H15.11.3(祝) | 2003 | 同上 | |
| 49 | 42 | H16.11.7(日) | 2004 | 同上 | |
| 50 | 43 | H17.10.16(日) | 2005 | 同上 | |
| 51 | 44 | H18.10.15(日) | 2006 | 同上 | |
| | 45周年記念 | H19.9.1(日) | 2007 | 同上 | 創立45周年記念演奏会 |
| 52 | 45 I | H19.11.1(木) | 2007 | 同上 | 演奏会・2日に分ける |
| | 45 II | H19.11.10(土) | 2007 | 同上 | 同上 |
| 53 | 46 | H20.10.18(日) | 2008 | 同上 | |
| | 渡辺泰子さんを囲むコンサート | H21.1.23(金) | 2009 | グリーンホール（小） | |
| 54 | 47 | H21.11.8(日) | 2009 | くすのきホール | 会長：門傳良男 |
| 55 | 48 | H22.10.17(日) | 2010 | 同上 | |
| 56 | 49 | H23.11.3(日) | 2011 | 同上 | 会長：柴田裕子 |
| | 50周年記念 | H24.4.8(日) | 2012 | 同上 | 創立50周年記念演奏会 |
| 57 | 50 | H24 | 2012 | 同上 | (予定) |

（作成: 村岡）

## 定期演奏会・周年記念演奏会・自主公演　開催記録（その1）

| 市民文化祭 | 三曲演奏会 | 開催日 | 西暦年 | 開催会場 | 主催・他 |
|---|---|---|---|---|---|
| 8 | 1 | S38.6.20(日) | 1963 | 調布市公民館 | 調布市三曲音楽協会<br>会長:磯野茶山 |
| 9 | 2 | S39.6.28(日) | 1964 | 同上 | |
| 10 | 3 | S40.6.20(日) | 1965 | 同上 | |
| 11 | 4 | S41.6.5(日) | 1966 | 同上 | |
| | | S41.10.29(日) | 1966 | 同上 | 調布市文化祭参加 |
| 12 | 5 | S42.11.11(土) | 1967 | 同上 | |
| 13 | 6 | S43.11.9(土) | 1968 | 同上 | |
| 14 | 7 | S44.11.1(土) | 1969 | 同上 | |
| 15 | 8 | S45.11.8(日) | 1970 | 同上 | |
| 16 | 9 | S46.11.14(日) | 1971 | 同上 | |
| 17 | 10 | S47.11.5(日) | 1972 | 同上 | |
| 18 | 11 | S48.11.11(日) | 1973 | 同上 | |
| 19 | 12 | S49.11.10(日) | 1974 | 同上 | |
| 20 | 13 | S50.12.7(日) | 1975 | 同上 | |
| 21 | 14 | S51.11.14(日) | 1976 | 同上 | |
| 22 | 15 | S52.11.3(祝) | 1977 | 同上 | |
| 23 | 16 | S53.11.5(日) | 1978 | 同上 | |
| 24 | 17 | S54.12.2(日) | 1979 | 同上 | |
| | 邦楽舞踊<br>公演 | S55.2.3(日) | 1980 | グリーンホール | 調布市市民福祉会館<br>文化事業団自主事業 |
| 25 | 18 | S55.10.26(日) | 1980 | 調布市公民館 | |
| 26 | 19 | S56.11.1(日) | 1981 | 同上 | 市政25周年 |
| | 邦楽舞踊<br>公演 | S57.2.28(日) | 1982 | グリーンホール | 調布市市民福祉会館<br>文化事業団自主事業 |
| 27 | 20 | S57.11.28(日) | 1982 | 調布市公民館 | 主催「調布三曲協会」に改称<br>会長：木藤きみ子 |
| | 20周年記念 | S58.2.20(日) | 1983 | グリーンホール | 磯野氏追悼演奏<br>創立20周年記念演奏会 |
| 28 | 21 | S58.10.30(日) | 1983 | 調布市公民館 | |
| 29 | 22 | S59.11.4(祝) | 1984 | 同上 | |
| 30 | 23 | S60.10.27(日) | 1985 | 同上 | |
| 31 | 24 | S61.10.26(日) | 1986 | 同上 | |
| 32 | 25周年記念 | S62.11.15(日) | 1987 | グリーンホール | 創立25周年記念演奏会 |
| 33 | 26 | S63.11.3(祝) | 1988 | 調布市公民館 | |

# ≪旧・現会員名・在籍期間一覧≫

青色は現会員

## 箏絃

| | 1960 | 70 | 80 | 90 | 00 | 10 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 芦川尚子 | 63 | | | 89 | | |
| 伊藤弥生 | 63-65 | | | | | |
| 大石喜代井 | 63 | | 81 | | | |
| 大館なつ井 | 63-67 | | | | | |
| 木藤きみ子 | 63 | | | 95 | | |
| 木本雅能 | 63--68 | | | | | |
| 米谷文登季 | 63 | | | 95 | | |
| 重松幹井 | 63 | | | | | |
| 嶋田香苗 | 63 | | | 95 | | |
| 高島藤佳 | 63-66 | | | | | |
| 鎗田節子 | 63 | | | | | |
| 久松君博 | 65 | | | 96 | | |
| 山下繁雄 | 65 | | | | 04 | |
| 吉村通子 | 65 | | 81 | | | |
| 阿部雅楽翠 | 65 | | 81 | | | |
| 菊池博久 | 65--72 | | | | | |
| 松尾歌余 | 69 | | | 94 | | |
| 石井美恵 | 69-71 | | | | | |
| 大坪成子 | 69-71 | | | | | |
| 森本順子 | 70-72 | | | | | |
| 佐藤吉和 | 71 | | | | | |
| 谷しのぶ | 71 | | 80 | | | |
| 村岡ふみ | 71 | | | | | |
| 宗井静 | | 76 | | 99 | | |
| 井上和子 | | 76 | 84 | | | |
| 粕谷敦子 | | 76-81 | | | | |
| 遠藤みね子 | | 77--81 | | | | |
| 渡辺泰子 | | 78 | | | 08 | |
| 伊藤歌幸都 | | 78 | 86 | | | |
| 桐村芙沙子 | | 78 | 85 | | | |
| 大沢善子 | | 79--83 | | | | |
| 駒井孝子 | | 80 | | | | |
| 角田央子 | | 81 | | | 04 | |
| 中西賀代子 | | 81 | | | | |
| 石田敦子 | | 81-83 | | | | |
| 桑島ナツエ | | 82 | | 98 | | |
| 田澤美津枝 | | 84-90 | | | | |
| 西村歌佳 | | 84-86 | | | | |
| 野口歌京 | | 84-85 | | | | |
| 井坂糸子 | | 84 | | | 07 | |
| 武重恭子 | | 86 | | | | |
| 田村博寿 | | 86 | | | | |
| 保田こずえ | | 86 | | | | |
| 吉川和博 | | 86 | | | | |

| | 1960 | 70 | 80 | 90 | 00 | 10 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 更田歌音余 | | | | 88-92 | | |
| 田代せつ子 | | | | 88 | | |
| 美蔦洋子 | | | | 90 | | |
| 石森康雄 | | | | 90 | 03 | |
| 松田孝子 | | | | 93 | | |
| 三橋歌由理 | | | | 94 | | |
| 角岡暁子 | | | | 94 | 07 | |
| 原田眞樹子 | | | | 96 | | |
| 村田章子 | | | | 97--04 | | |
| 柴田裕子 | | | | 98 | | |
| 阿部カヨ子 | | | | 98 | | |
| 後藤好子 | | | | 98 | 07 | |
| 上口房子 | | | | 99 | | |
| 土橋由美 | | | | 00 | | |
| 中山淑子 | | | | | 06 | |
| 松本愛子 | | | | | 06 | |
| 佐藤美穂 | | | | | 07 | |
| 佐藤義久 | | | | | 07 | |
| 小林千恵子 | | | | | 07 | |
| 牧内敬子 | | | | | 11 | |

## 尺八

| | 1960 | 70 | 80 | 90 | 00 | 10 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 磯野茶山 | 63 | | | 81 | | |
| 笹尾頌山 | 63-66 | | | | | |
| 伊藤茶雪 | 65-67 | | | | | |
| 大原ヒロシ | 65-68 | | | | | |
| 佐藤孝仙 | 65-69 | | | | | |
| 前田茶青 | 65-71 | | | | | |
| 初見啓次郎 | 68-72 | | | | | |
| 内野剣山 | 69 | | 84 | | | |
| 荻窪剣光 | | 74-76 | | | | |
| 佐藤剣道山 | | 74 | 84 | | | |
| 門傳良男 | | 74 | | | 11 | |
| 金子剣琇 | | 79-83 | | | | |
| 川上剣岑山 | | 79-84 | | | | |
| 阿部鳳翔 | | 80-83 | | | | |
| 橋本洋 | | 82 | | | | |
| 槁本竹咏 | | 83 | | | | |
| 副島希童 | | 84-85 | | | | |
| 牧原伸一朗 | | | 92-94 | | | |
| 三輪輝夫 | | | 95 | | | |
| 佐藤貴采 | | | | | 06 | |
| 細山伶観 | | | | | 06 | |
| 横尾勝 | | | | | 08 | |
| 中込棋山 | | | | | | 12- |

# ≪調布三曲協会会員教授所≫

[箏絃]

| | | | |
|---|---|---|---|
| 阿部 カヨ子 | 〒182-0012 | 調布市深大寺東町 8-8-6 | 042(485)2883 |
| 上口　房子 | 〒182-0005 | 調布市東つつじヶ丘 3-11-37 | 03(3305)5477 |
| 小林 千恵子 | 〒192-0373 | 八王子市上柚木 1034-1-103 | 042(679)4920 |
| 駒井　孝子 | 〒182-0011 | 調布市深大寺北町 1-2-2 | 042(482)8313 |
| 佐藤　美穂 | 〒182-0022 | 調布市国領町 6-20-10 | 042(481)3291 |
| 佐藤　吉和 | 〒157-0062 | 世田谷区南烏山5-12-11 宮本ビル2D | 03(3308)8105 |
| 佐藤　義久 | 〒186-0005 | 国立市西 3-6-1 | 042(576)9386 |
| 柴田　裕子 | 〒182-0014 | 調布市柴崎 2-4-1-911 | 042(486)6345 |
| 田代 せつ子 | 〒182-0002 | 調布市仙川町 2-21-2 | 03(3300)5773 |
| 田村　博寿 | 〒182-0035 | 調布市上石原 2-23-20-302 | 042(484)0159 |
| 土橋　由美 | 〒182-0023 | 調布市染地 3-1-92 ト9-202 | 042(485)6432 |
| 中西 賀代子 | 〒182-0024 | 調布市布田 4-3-5-701 | 042(482)0900 |
| 中山　淑子 | 〒192-0354 | 八王子市松が谷 50-1-206 | 042(674)1342 |
| 原田 眞樹子 | 〒182-0026 | 調布市小島町 2-54-4-LP801 | 042(485)3379 |
| 牧内　敬子 | 〒182-0021 | 調布市調布ヶ丘 3-29-3 | 042(482)8565 |
| 松田　孝子 | 〒182-0017 | 調布市深大寺元町 4-35-1-2-107 | 042(483)2379 |
| 松本　愛子 | 〒197-0022 | 福生市本町36フェリース福生 201 | 042(551)3896 |
| 美蔦　洋子 | 〒182-0024 | 調布市布田 5-21-35 | 042(488)0750 |
| 村岡　ふみ | 〒182-0024 | 調布市布田 2-7-4調布ハイツ201 | 042(482)1241 |
| 吉川　和博 | 〒182-0006 | 調布市西つつじヶ丘 4-36-4 | 042(483)3369 |

[尺八]

| | | | |
|---|---|---|---|
| 佐藤　貴采 | 〒215-0023 | 川崎市麻生区片平 4-24-8 | 044(989)0758 |
| 中込　棋山 | 〒182-0033 | 調布市富士見町 3-1-26 | 042(487)3432 |
| 槁本　竹咏 | 〒183-0027 | 府中市本町 3-28-15 | 042(363)6627 |
| 橋本　　洋 | 〒182-0034 | 調布市下石原 3-71-11-401 | 042(486)7715 |
| 細山　伶観 | 〒167-0053 | 杉並区西荻南 2-18-17-502 | 03(5934)7822 |
| 三輪　輝夫 | 〒182-0034 | 調布市下石原 3-36-4 | 042(488)3331 |


プログラム小冊子企画編集　佐藤貴采、柴田裕子、田村博寿、橋本洋、美蔦洋子、三輪輝夫、村岡ふみ、吉川和博

レイアウト・裏表紙キャッチコピー　田村博寿

表紙デザイン・データ入力編集　佐藤貴采

春闌(たけ)り

おと遊びせむと

うちつどうたづくりの里に

かんげんの響

問い合わせ先　　事務局　美蔦 洋子　電話 042 (488) 0750

調布三曲協会ホームページ（ブログ）

http://www.chofu-sankyoku.jp/ 調布三曲 検索

創立50周年特集記事に、これまでの演奏会記録や、フォトアルバム、
刊行記事などを掲載しています。是非ご覧下さい。